

第3学年国語科学習指導案

平成25年10月29日(火) 第5校時

第3学年2組 31名

授業者 隅木ゆりか

研究主題

自ら考え、表現する児童の育成

— 言語力の向上をめざして —

1 単元名

調べたことを整理して発表しよう

2 単元の指導目標

- ・身近な行事について調べ、資料を使ってわかりやすく説明する。
- ・自分が調べたことと比べながら発表を聞く。

3 単元の評価規準

観点	ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
単元 の 評 価 規 準	① 地域の行事について調べたことを説明することに意欲的に取り組もうとしている。	① 聞き手にわかりやすいように、話す速さや間、言葉遣い、資料を見せるタイミングなどを考えて話している。 ② 調べたい行事を選び、調べる方法を決めたり必要な資料を集めたりしている。 ③ 調べたことを整理し、事例を挙げたり資料を使ったりして話している。 ④ 自分達が調べたことと比べながら聞き、質問をしたり感想を述べたりしている。	① どのような話し方をすれば聞き手が内容をとらえやすいか考えて説明しようとしている。 ② 伝える内容の根拠を明確にして、説明しようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「A話すこと・聞くこと」の指導事項の中から、特に「ウ相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと」を重点的に取り上げて指導する。「イ相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと」を指導したうえで、聞き手によくわかるような話し方や資料の示し方などを工夫して説明する活動を取り入れることで、的確にわかりやすく伝える力をつけ

ることをねらいとした。

その際、「A話すこと・聞くこと」の言語活動例に示す「A出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること」を通して指導の効果を高めようと考えた。言語活動例Aに示す言語活動を学習の時期や児童の実態に応じ、地域の行事について説明する内容とし「わたしたちのまちの行事をしょうかいしよう」として具体化することにした。

(2) 児童観

本学級の児童は、昨年度、2年生の生活科「町探検」の学習で、学校の周りの施設の見学・取材・新聞づくりを行っている。関心のある施設を一カ所選び、取材内容を事前に考え、取材を行い、後日1人1枚新聞にまとめた。

また今年度総合的な学習の時間「昆虫や花を調べよう」では、興味のある昆虫や花を選び、グループごとに調べ学習をした。調べたことは画用紙にまとめた。画用紙には、絵や図と共に書こうとすることの中心をはっきりさせ一目で見てわかりやすくまとめるよう指導をした。

疑問に思ったことを詳しく知りたいという意欲が非常に高く、どちらの単元も楽しみながら学習に取り組むことができた。

しかし、意欲をもって学習に取り組むものの、原稿を作成するにあたり資料を全て引用したり、意味がわからない言葉をそのまま使用し、聞き手にきちんと伝えることができないこともあった。そこで、聞き手を意識して発表ができるよう指導をしていきたい。

5 単元の指導計画と評価計画 (12時間扱い)

	学習活動・学習内容	学習活動に即した具体的な評価規準
第1時	教材のねらいと活動の流れをつかみ、発表会に関心をもつ。	地域の行事について調べたことを発表することに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。
第2時	自分たちの地域の行事に興味をもつ。	自分達の地域の行事に興味をもち、どのような行事があるのか進んで調べている。
第3時	自分が調べたい地域の行事を決め、調べる内容や方法を考える。	調べたい行事を選び、知りたいことや調べる方法を話し合っている。
第4時	選んだ行事について様々な方法で調べ、発表の材料を集める。	知りたいことについて調べ、要点をメモしたり、必要な資料を集めている。
第5時	北区観光ボランティアガイドを招き、地域の行事の話聞く。	話を意欲的に聞き、わかったことや要点をメモしている。
第6時	選んだ行事について様々な方法で調べ、発表の材料を集める。 『北区の歴史はじめの一步』 ホームページ・観光パンフレットなど	知りたいことについて調べ、要点をメモしたり、必要な資料を集めている。
第7時	調べたことを整理して、発表する内容や方法を考える。	調べたことを整理し、伝えたいことの内容を決めて、聞き手にわかりやすい構成を考えている。
第8時	聞き手にわかりやすく伝えることを意識して発表原稿を書く。	調べたことについて、事例を挙げたり資料を使ったりしてわかりやすい話し方を考え、原稿を書いている。
第9時	発表全体のつながりを意識して発表原稿を見直し、必要な資料を準備する。	発表全体のつながりを意識して原稿を見直し、聞き手にわかりやすい資料の示し方を考えている。聞き手にわかりやすいように、話し方や資料の見せ方の工夫を考えて、発表練習をしている。

第10時 (本時)	友達の意見を聞いてより良い発表の仕方を考える。	友達の意見を聞いてより良い発表の仕方を考えようとしている。 良い発表の観点に気をつけながら聞き、より良い発表について助言をしている。
第11時	友達からもらったアドバイスを生かした発表をする。	友達の助言からより良い発表を考え、発表練習をしている。
第12時	聞き手を意識しながら、調べたことをわかりやすく2年生に発表する。	聞き手を意識しながら、調べたことをわかりやすく発表している。

6 研究主題とのかかわり

○観点の提示

下学年に伝わる発表の仕方を理解させるために、より良い発表の観点を提示する。

○目的意識

目的意識をもたせるために下学年に発表することを単元の始めに児童に伝える。意味のわからない言葉や辞書で調べるなど、自分自身が内容をよく理解し、相手に内容が伝わる発表ができるようになる。

○授業形態の工夫

資料を読み取る力や文章を書く力に個人差があるためグループ学習を取り入れる。発表原稿の作成や資料選び、文章の推敲をグループ全体で行うことにより、より相手に内容が伝わる発表になると考える。

○ワークシートの工夫

どのように改善して発表をすればよいか自ら考えさせるために発表練習をしたあとワークシートで振り返りを行う。

ワークシートは2種類使用する。1枚目は相手のグループに対し良い発表の観点に沿って判断をし、助言を行う。発表後ワークシートを交換し、他者からの助言から2枚目のワークシートでこれからの発表での改善点を考え、より良い発表につなげていく。

○ゲストティーチャーの活用

説明するときの話し方や資料の提示の仕方を学ぶために、日頃から多くの人たちに説明をしている北区観光ボランティアガイドの方を招いて、地域の行事について話をしてもらう。


7 本時の学習（全12時間中の10時間目）

(1) ねらい

- ・友達の意見を聞いてより良い発表の仕方を考えようとしている。
- ・良い発表の観点に気をつけながら聞き、より良い発表について助言をしている。

(2) 展開

時間	学習活動	○指導上の留意点・配慮事項	◆評価規準(評価方法)
導入 5分	1. 本時の目標を把握する。	○板書で目標を明示する。 友達の意見を聞いてより良い発表の仕方を考えよう。 ○本時の流れを説明する。 ○前時で確認した「良い発表」の観点を確認	

		<p>する。</p> <p>○評価カードを配布し、記入の仕方を説明する。</p>	
<p>展開 35分</p>	<p>2. 発表の練習を見合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・相手グループの発表を聞く。</p> <p>・相手グループへの評価カードを書く。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・グループの発表をする。</p> <p>・自己評価をする。</p> </div> <p>・この2つの活動を交互に行う。</p> <p>3. 改善点の検討をする。</p> <p>・相手グループから評価カードを受け取り、より伝わりやすい発表にできるようにグループで話し合う。</p>	<p>○発表5分 評価カード記入4分</p> <p>○評価カードの項目に沿って、相手グループの良かったところ、改善すべきところに注意して聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと聞こえたか。 ・聞いている人の顔をよく見たか。 ・話のまとめりごとに間をとっていたか。 ・大事な言葉は少し大きな声で言っていたか。 ・資料は見やすかったか <p>○評価カードで観点に沿って自己評価をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞こえる声ではっきりと話す。 ・聞き手の顔を見て、話が伝わっているか確かめながら話す。 ・話のまとめりごとに間を取る。 ・大切な言葉は少し大きな声で言う。 ・資料を見せるときには、聞く人が見えやすいように見せ方を変えたり、見るための時間を取ったりする。 <p>○自己評価と合っているのかを確認させる。</p> <p>○グループの傾向をつかみ、グループ全体でどのように改善すればよいか考えさせる。</p>	<p>◆良い発表の観点に沿って友達の発表を評価している（ワークシート）</p> <p>◆友達の意見を聞いてより良い発表を考えようとしている。（発表・ワークシート）</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4. 次回気を付けることを発表する。</p>	<p>○良い発表の仕方の観点を意識させ、観点ごとに発表をさせる。</p>	

板書計画

次回気をつけること

声

顔を見る

間を取る

大事な言葉

しりょうの見せ方

良い発表

わたしたちの町の行事を発表しよう

友達の意見を聞いてより良い発表を考えよう。

ワークシート

<p>・2年生に発表するとき、より良い発表をするためには…</p> <p>・自分</p>	<p>・グループで話し合っ</p>
--	-------------------

<p>みんなに聞こえる声ではっきりと話す。</p> <p>聞いている人の顔をみて、話がつたわっているかたしかめながら話す。</p> <p>話のまとまりよく話す。</p> <p>大事な言葉は少し大きな声で言う。</p> <p>しりょうを見せるときは、聞く人が見やすいように見せ方を考えたり、見るための時間をとったりする。</p>	
---	--

わたしたちの町の行事をしようかいしよう

ふりかえりカード

名前

<p>意味がわからなかった言葉 (聞きながら書きましよう)</p>	
<p>相手のグループの発表がより良い発表になるようアドバイスしよう。</p>	

<p>はっきりと聞こえたか。</p> <p>聞いている人の顔をよく見ていたか。</p> <p>話のまとまりよく話していたか。</p> <p>聞かずに聞いていたか。</p> <p>大事な言葉は少し大きな声で話していたか。</p> <p>しりょうは見せやすかったか。</p>	さん	さん	さん	さん	さん	さん
---	----	----	----	----	----	----

わたしたちの町の行事をしようかいしよう

相手グループにアドバイスしよう。

名前

良い発表観点

良い発表の仕方

はっきりと

声の大きさと速さ

相手の顔を見る

間をとる

話のまとまりよく

大事な言葉

大きな声で

しりょうの見せ方

みんなが見えるように見るための時間をとる

グループで

発表する人がわかりやすいか交代はスムーズか

(3) 授業の視点

- ① ワークシートは良い発表の観点を意識して相手グループの発表を聞くために有効であったか。
- ② 聞き手が書いたワークシートを用いての話し合いは、聞き手の立場にたって、自分たちの発表をふりかえるのに有効であったか。また、良い発表の観点に沿って次時のめあてを決めるために有効だったか。

8 成果と課題

(1) 成果

- ・良い発表の観点や聞くときの観点を提示し指導していくことで、意識をしながら学習に取り組めた。
- ・2年生に発表するという目的意識があったため意欲的に学習に取り組めた。
- ・わからない言葉を辞書で調べる習慣がついた。
- ・相手のことを考え、目を見て話をする、間を取るなどの話し方の工夫が日常でみられるようになった。

(2) 課題

- ・2年生に発表するという最終形態を意識して発表ができるようにする必要がある。
- ・ワークシートの枚数が多く、目を通すことに時間がかかったのでより工夫が必要である。
- ・ワークシートの観点別評価のところ、がんばりが認められるような項目があると意欲が高まる。

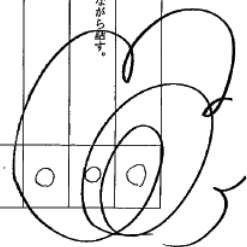
9 資料

(1) ワークシート・発表原稿

・グループで話し合っ て 大きな声でいえないかたので、大きな声でいえるように、 みんながうしろで大きな声でいえるようにしたい。	・自分 大事なこと言葉を入きくいなかたので、 2年生のために入きくいなかたので、	2年生に発表するときに、より良い発表をするためには…
--	--	----------------------------

大事な言葉は少し大きな声で言う。	しりょうを見せるときは、聞く人が見やすいように見せ方を考えたり、 見るための時間をとったりする。	話のまとまりごとに間をとる。	聞いている人の顔を見て、話がつたわっているかたしかめながら話す。	みんなに聞こえる声ではっきりと話す。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

わたしたちの町の行事をしようかいしよう
ふりかえりカード
名前



(さいごに)

さいごに、わたしたちの感想です。
わたしたちは、田楽はいろいろな田楽でやる
田楽おとりにつがうことがさこの事かよ
く分かりました。なので、来年の田楽は、今
回学んだ事をたしかめるために行ってみたり
です。三年生のおも行ってみてください。

発表原こう

名前()

(2) 授業の様子

